

科目名	サウンドシステム2							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	音響芸術科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員				教員の実務経験		実務経験の職種			

【科目の目的】

音響機器への興味・理解を深め、より良い作品づくりに活用できるようスキルを高める。

【科目の概要】

音響関連の用語やその仕組みの理解を目的とします。

【到達目標】

電気の基礎的理解を元に交流である音の理解を広げていく。またアナログ機器とデジタル機器を平行して学習していくことにより、音の処理を基本的な部分から理解し、音の変化の仕組みもイメージ出来るようにする。音に関する単位や様々な基本的な数値についてもしっかりと記憶して頂き、プロフェッショナル・エンジニアとしての知識を豊富にしていく。

【授業の注意点】

この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は実習関連の試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
パソコンの基本構造の理解	パソコンの5大構成要素、それぞれを説明出来る	パソコンの5大構成要素が5つ全てわかる	パソコンの5大構成要素のうち、3つほどわかる	パソコンの5大構成要素が全くわからない	パソコンに興味がない
アナログとデジタルの理解	アナログは連続的、デジタルは離散的な音声信号である事を把握している。	アナログとデジタルの違いを説明出来る。	現代におけるサウンドソースには、アナログとデジタルの2種類がある事を知っている。	アナログ、およびデジタルという言葉聞いたことはある。	アナログとデジタルの違いがわからない。
電源の理解	電源が音質に影響する事を知っている。	電源には交流と直流がある事を知っている。	日本の家庭用コンセントの電圧が100Vである事を知っている。	日本の家庭用コンセントの電圧が100Vである事を知らない。	機器ごとの適正電圧を確認しない。
音の監視の理解	フェイズメーターの使い方がわかる。	VUメーター、ピークメーターの使い方がわかる。	プロ機器、民生機の基準レベルを知っている。	オーバーロードインジゲーターの使い方がわかる。	メーターを見ない。
モニター環境の理解	モニタースピーカーの設置が適切に出来る。	ステレオスピーカーのセンター定位を確認できる。	スピーカーの仕組みを理解している。	スピーカーの原理が、フレミングの法則の右か、左かわからない。	センター定位のズレに気が付かない。

【教科書】

【参考資料】

サウンドレコーディング技術概論（社団法人 日本音楽スタジオ協会）

【成績の評価方法・評価基準】

筆記試験、授業内課題

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		サウンドシステム 2			年度	2025
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	コンピューター1	パソコンの誕生とOSを知る	パソコンとApple	パソコン誕生の経緯を知る		
			MacとWindows	各オペレーティングシステムについて知る		
2	コンピューター2	パソコンの種類と仕組みを知る	デスクトップ	デスクトップパソコンとは？を理解する		
			ラップトップ	ラップトップパソコンとは？を理解する		
			構成要素	主要な内部パーツの構成要素を知る		
3	コンピューター3	CPU, Memory, HDDなどを知る	各パーツ解説	各パーツについての理解を深める		
4	アナログとデジタル	アナログとデジタルの概念を知る	アナログとは？	音声信号におけるアナログを理解する		
			デジタルとは？	音声信号におけるアナログを理解する		
			メリット・デメリット	アナログとデジタルの長所・短所を知る		
5	クロックと同期	デジタルのクロックを知る	クロックとは？	クロックの必要性と重要性を理解する		
6	電源について1	送電を知る	送電の始まり	エジソンとニコラ・テスラの電流対決を知る		
			交流と直流	直流送電と交流送電の長所・短所を知る		
7	電源について2	電源の重要性を知る	電源スペック	世界の電圧、日本の電圧と電源周波数を知る		
			電源と音質	電源のクオリティーが音質に影響することを知る		
8	音の監視1	音の監視の必要性を知る	レベル監視	録音技術としてのレベル管理を理解する		
			基準レベル	民生機・プロ機における基準レベルを知る		
9	音の監視2	監視の方法を理解する	位相監視	録音技術としての位相管理を理解する		
			位相について	音声信号における位相の重要性を知る		
			周波数特性	ミックスにおける周波数特性の客観的把握の方法を知る		
10	モニタースピーカー1	モニター用スピーカーとは何か理解する	スピーカーの必要性	観賞用ではないスピーカーというものを理解する		
11	モニタースピーカー2	スピーカーセッティングを知る	正しいセッティング	適切なセッティングの重要性を理解する		

12	ヘッドホンとイヤホン	ヘッドホンとイヤホンを知る	ヘッドフォンの仕組み	ヘッドフォンの仕組みと分類を知る		
			イヤフォンの仕組み	イヤフォンの仕組みと分類を知る		
13	モニター環境	スタジオの必要性を理解する	スタジオ環境	音響コンテンツ制作におけるスタジオ環境の重要性を知る		
14	イマーシブサウンド	最新オーディオを知る	立体音響の現在	次世代立体音響についての理解と興味を深める		
15	復習	前期復習をする	テスト対策	前期復習をして期末テストの対策をする		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						